

みんなで「あつまり」「つながり」
「活躍する」ためのホットな情報
をお届け！

発行：甲府市協働支援センター

実践研修

協働のまちづくりを考える

コーディネーター育成講座開催



協働のまちづくりコーディネーター 育成講座が開催されました。

全4回の講座には、20歳代～70歳代までの12人の市民の皆さんが参加しました。少子高齢化・人口減少とライフスタイルの多様化や豊かさの感じ方の変化などにより、地域活動への関わり方や考え方も変わりました。

ここ10年間では、地域活動の担い手不足が顕著になってきています。

ワークショップ形式にて開催された本講座では、協働のまちづくりコーディネーターとして求められるスキルや人物像を導き出しました。「共助」による地域活動のカタチを「シニアと若手」の視点に分かれて考えながら各自のアイデアを出し合い、地域活動の停滞によって明らかとなった地域課題解決に向けて話し合いと意見発表を行いました。

導き出された コーディネーター像

意見を図解化し、グループ分けをして関連性を読み解きました。その結果、次のような理想像が導き出されました。
『将来の姿を描き、対等の立場で、課題解決のために行動できる旗振り役』

市民協働の理念

市民協働とは
『行政と住民が対等な立場で、互いの特性を尊重しながら、共通の目標を達成するために協力すること』といわれています。



理想のコーディネーター像は、市民協働の理念とよく似た結果が導き出されました。地域課題を捉える視点と解決のアイデアは地域に住む皆さんによる協力と行動で培うことができます。世代毎のモノの見方の違いに着目し、地域のいろいろな活動団体がつながり様々な視点で地域課題を共有して解決に向け行動できれば、地域が望む理想のまちの姿に近づけます。講座を受講された皆さんは、コーディネーターとしてのスキルを発揮しアイデアをまちづくりに活かしてください。

第2回 コーディネーター育成講座は市長との対談

昨年度コーディネーター研修を修了した岩下摩紀さんをはじめ、樋口市長、保坂自治会連合会会長らをパネリストに交え、対談形式で研修が開催されました。まちづくりコンサルタントの水津陽子先生を進行役に招き、テーマを『地域活動の担い手不足解消に向けた取組』にフォーカス。地域活動に対し、その地域に関係する人たちも呼び込みながら地域活動の負担軽減と役員以外の住民が協力してもらえる組織運営ができるよう、事例を交え意見交換をして将来像を考えました。



考える
地域活動の
担い手確保



鈴村邸・活動レポート

着物撮影会で地域交流



◀屏風の前で撮影に応じる学生カメラマンはこの地域に住む住民の方です

あつ活 NEWS! 第21号で取材した古民家『旧鈴村邸』。その後の活動を取材しました。地域のつながり拠点として生まれ変わったこの施設で、地域交流行事が開催されました。若手とシニアの皆さんを交えた着物撮影会です。山梨県立大学の学生の発案により初開催となるこの催しには、二十歳のつどいを終えた着物姿の学生が参加。撮影会を終えた学生たちは、歓談スペースにて、来場した地域の皆さんと情報交換をしながら談笑して楽しい時間を過ごしました。

地域のつながり拠点であるこの鈴村邸には、オーナーである飯田千春さんによる施設活用への想いがありました。『地域のために地域の皆さんが活躍できる施設として活用してもらい、元気溢れる地域を復活させてもらいたい』『着物撮影会は私の願いが一つ実現した』との感想を語ってくれました。

今後も、つながり拠点として地域の皆さんや地域に関係する皆さんで、様々なアイデアを活かした地域交流事業を協働して実施していただきたいと思います。

▶歓談スペースでの交流シーンカメラ目線の方がオーナーの飯田千春さんです



地域活動とあつ活サポーター



春日地区自治会連合会

春日地区の恒例行事「どんど焼き」の運営支援をしてくれたのは、学生ボランティア団体『甲斐縁隊』の4人の皆さんです。4人は、地域の

子供たちに凧揚げ等の昔遊びの教え手や餅つきのつき手となり地域活動を支援。地域の皆さんからは、『親子連れの参加も多く若手世代が学生に親近感を持ってくれたようだ。大変助かった』との感想の声がありました。



石田地区自治会連合会

石田地区で開催された「お俵桜まつり」で、『すみよし生活支援センター』が健康事業の拡大支援をしてくれました。お祭りの催しであるマルシェにて、セラピードッグと交流できる機会を提供。来場者はアニマルセラピーによる癒しの効果を体験していました。石田地区からは、『親子連れの皆さんが癒しの時間を楽しんでいた。お祭りが盛り上がった』との感想がありました。

協働支援センター 研修情報

ワード・エクセル入門講座を開催しました

協働支援センターで、会計資料の作成や回覧文書の作成に役立てていただくための実践研修を開催しました。今回も大勢の市民の皆さんが参加してくれました。参加した市民の方からは、「帰宅してから復習して、自治会の会計事務で活用してみよう」との感想が聞かれました。今後の地域活動の省力化と地域活動のさらなる活性化につなげてください。



これまでに協働支援センターで実施した研修の詳しい情報はこちらから▶



編集後記

メディアに

あつ活サポーターが取材されました!

あつ活サポーター団体である「すみよし生活支援センター」が甲府市長を表敬訪問しました。セラピードッグのマルコくんも同席して協働支援センターで実施された表敬訪問では、樋口市長とマルコくんのふれあいの様子がメディアに取材されました。皆さんの地域でも、地域活動担い手の助っ人「あつ活サポーター」との連携で、地域活動がこれまで以上に活発化するといいですね。

